令和6年度 第7回 北区自治協議会 会議概要

日時 令和6年11月28日(木) 午後1時30分から

会場 北地区コミュニティセンター 大ホール

出席者 委員

菊地委員、坪木委員、諏訪委員、小日向委員、飛鳥井委員、
阿部委員、前田委員、恩田委員、清水(博)委員、有田(一)委員、佐久間委員、
佐藤(茂)委員、清水(文)委員、小熊委員、皆川委員、三浦委員、寺山委員、
横山委員、野口委員、小林委員、伊藤委員、遠藤委員、日下委員、川島委員、
佐藤(哲)委員

計 25 人

(欠席：佐藤(康)委員、渡邊委員、竹島委員、石山委員、有田(竜))

事務局〔北区役所関係〕

北区長、副区長兼地域総務課長(以下「副区長」、区民生活課長、
健康福祉課長、産業振興課長、建設課長、北出張所長、消防局北消防署、
豊栄地区公民館長、北区教育支援センター長、地域総務課長補佐2人、
地域総務課職員4人

〔教育委員会〕 教育委員会職員2人

計 18 人

傍聴者 1 人

1 開会

前田会長

会長の前田義憲でございます。

本日は足元の悪い中、委員の皆様、丸山区長様はじめ事務局の皆様、そして傍聴席の皆様方に、令和6年度第7回北区自治協議会にご出席いただき、まことにありがとうございます。このあと、委員各位には活発なご審議をお願いし、簡単ではありますが、冒頭あいさつとします。よろしくお願いいたします。

それでは、皆様、お手元の会議次第をご覧ください。本日の会議は、会議次第のとおり、次第2の報告事項が6件、そして次第3の「その他」となっております。不慣れではありますが、円滑な議事進行にご協力をよろしくお願いいたします。

それでは、最初に次第2の「報告事項(1)岡方地区の小中学校の統廃合について」です。それでは、教育総務課の皆さん、よろしくお願いいたします。

次第2

(1) 岡方地区の小中学校の統廃合について

教育総務課

皆さん、こんにちは。新潟市教育委員会教育総務課でございます。本日はよろしくお

願います。では、座って説明させていただきます。

私からは、岡方地区の小中学校の統合について、ご報告させていただきます。先週末、新潟日報にも掲載されておりましたとおり、11月7日に市役所本館におきまして、岡方地区コミュニティ委員会、葛塚中央コミュニティ協議会、長浦コミュニティ委員会より、岡方地区の小中学校の統合についての要望書が、中原市長、夏目教育長に提出されました。

このことについては、岡方地区におきまして、学校教育環境改善を目的に、令和3年5月から、約3年の時間をかけて検討がされてきているところです。検討会は合計20回を数えまして、検討前の事前の打ち合わせですとか、住民の皆様へのご説明の会などを合わせますと、さらに多くの時間が費やされてきました。もちろんこの間、この結論に至るまで、簡単な道のりだったわけではございません。統合の検討を進めるにあたっては、大きく分けて4つの統合パターンに基づいて、検討をしてまいりました。中には学校存続を望む声や、地域の発展を心配されるお声もありましたが、多面的な視点から時間をかけて検討を重ねてきたところです。

その結果、今年7月には、岡方地区学校教育地域検討会から、提言書が3つのコミュニティ協議会に提出されました。それを受けて、3つのコミュニティ協議会で会議をさせていただいて、このたびの要望書の提出という運びとなりました。

今後は、令和9年4月を目途に、岡方第一小学校と岡方第二小学校を葛塚小学校に、岡方中学校を光晴中学校に統合するための、具体的な準備が進められるということになります。関係する地区の皆様には、12月1日付で3つのコミュニティ協議会連名のおたよりが発行されることになっております。本日まだ発行前ではありますけれども、皆様のお手元にもおたよりをお配りしております。どうぞご承知おきください。

簡単ではありますが、以上で私からの説明を終わります。

前田会長

はい、ありがとうございます。今の説明で、ご質問とかありませんか。清水さん、どうぞ。

清水（博）委員

今話がありましたが、この3つのコミュニティ協議会から要望書が出ているわけですが、これについて、市としてどのように考えているのかお伺いしたいと思います。

教育総務課

このあと、要望事項をそれぞれの担当課で協議し、なるべく皆様のご期待に沿えるようにということで、協議を進めてまいります。このことについて、地域の皆様にも、進捗状況等も説明していきたいと思っております。

前田会長

いいですか。私も岡方の人間でございますので、経緯をちょっと。子どもたちが、生徒が、その辺、ポイントを説明していただくと助かります。

教育総務課

具体的に背景の話といったことでよろしいでしょうか。

前田会長

私が言うのもあれですが、岡方第二小学校の生徒数が減って、複式学級が増えると。そういうのが経過でしたよね。それから今後の日程といいますか、どのように統合までいくのか、統合までの経過と、その辺を説明していただきたいと思います。

教育総務課

前田会長にもずっと関わっていただいておりますが、毎年、教育委員会で児童・生徒数の推計を作っているのですが、今後6年間の子どもたちの人数、学級数の推移を出していくと、岡方地区では、2学年合わせて16人以下になり、複式学級という、2学年1クラスになるという状況が令和8年度に見られたので、岡方の皆様に学校の在り方を検討しませんかというお声かけをさせていただいて、令和3年から会が始まりました。

やはり、始めたときはまだ先かなという印象だったのですけれども、岡方第二小学校の児童数の減りが早く、熱心に検討していただきました。来年度の4月には統合に向けた実行委員会を立ち上げて、検討していく予定です。以上です。

前田会長

はい、ありがとうございます。ほかに何か、皆さんのほうからご質問やご意見はありますでしょうか。伊藤さん、どうぞ。

伊藤委員

伊藤です。私は葛塚小学校区に住んでおり、学校のいろいろな活動にお邪魔しています。この統合によってすごく学校区が広がるわけです。そして、複数の方向からスクールバスが来ますので、登下校について心配しております。

この文面を見ますと、運行方向とか経路というような文章があったのですが、それのみにならず、小学校のカーブした建物と道路は普段から見通しが悪いので、徒歩による登下校の児童、雨の日で傘を使う場面など心配なこともありました。経路やバスについてのみならず、学校の入り口といいますか、建物とか動線、徒歩で登下校する人への安全も含め、教育委員会さんのほうで検討いただけるといいなと、地域の人間としては思います。

教育総務課

はい、ありがとうございます。今後、統合実行委員会が立ち上がりますと、安心安全部会ができて、そこでスクールバスや登下校についても、地域の皆様、学校の先生方も協議してまいりますので、今のご意見もお伝えしたいと思います。

ありがとうございます。

前田会長

ありがとうございました。ほかに何かございますか。ないようであれば、教育総務課の皆様、大変ありがとうございました。

続きまして、次第の「報告事項（２）令和７年度特色ある区づくり予算について」、事務局から報告をお願いします。

（２）令和７年度特色ある区づくり予算について

地域総務課

地域総務課長の江戸です。よろしくお願いします。

では、報告資料２－１をご覧ください。北区の令和７年度区づくり予算の区企画事業、ならびに福祉、防災など、区づくり事業の枠外となった事業も含め、現時点での検討事業の概要についてご説明します。本日提案状況について説明させていただき、12月の自治協議会では、区づくり予算事業（案）の全体について承認いただく流れとなっています。

事業数としては、区づくり事業が11事業、区づくり事業以外の区関連事業が4事業、合計15事業です。そのほか別に区自治協議会提案事業があります。区づくり事業の各項目について簡単に説明させていただきます。

1つ目は、事業番号1、新規事業の「北区水辺大学」です。北区にある豊かな水辺および活動する地域団体にスポットをあてて発信し、区民の区に対する愛着形成を図るため、地域団体などと協働で体験型の事業を実施します。

2つ目は事業番号9、継続事業の「キタクなる魅力創造プロジェクト」です。市外・県外・外国人客・若者世代に向けた広報を強化するほか、交流人口拡大のため、観光資源を整備して、新規顧客の開拓とリピーターの増加を狙います。

3つ目は事業番号11、継続事業の「北区エンジョイスポーツ事業」です。気軽にスポーツを楽しめる区民参加型のイベントや、各種競技別大会を開催し、多くの人がスポーツを愛好する機運の醸成を図ります。あわせて、ジュニア世代の課外活動を支援します。

また、8月に自治協議会委員の皆様から頂いた提案、アイデアについては、区づくり事業番号2で反映させていただいています。

なお、市全体にかかわるもので、区だけでは決められず、すぐには反映しきれないもの、既存事業で実施、または趣旨を反映しているものもございますが、その点はご了承くださいたいと存じます。また、今ほどの詳細は、報告資料２－２にて、頂いた提案ごとに、区の方針、区分を記載していますので、後ほどご覧ください。

そのほか、一覧表に記載のすべての事業および自治協議会提案事業について、金額や予算の枠は現在調整中となっていますが、予算の確保に努めているところです。以上、簡単ですが、現段階での区企画事業などの提案状況についての説明とさせていただきます。

よろしくお願いします。

前田会長

ありがとうございました。今の説明に何かご質問、ご意見ございますか。川島委員、どうぞ。

川島委員

質問です。事業番号1番、2番なのですが、「北区にある豊かな水辺」、この水辺というのは、沼とか潟とかのみなのでしょうか。海辺、川辺も入るのでしょうか。

地域総務課

事業番号2番については、これまでひょうたん池、十二瀨、濁川自然生態観察園ということで、継続して行っております。1番につきましては、まだ来年の事業で、これから事業を固めていく段階なので、いろいろ考えていきたいと思っています。

前田会長

はい、ありがとうございました。川島さん、いいですか。ありがとうございました。ほかに何かご質問、ご意見ございますか。特にありませんか。

それでは、次に「報告事項（3）推薦会議の報告について」、阿部委員からご報告をお願いします。

（3）推薦会議の報告について

阿部委員

それでは、報告資料3「北区自治協議会委員推薦会議の検討状況について」をご覧ください。11月13日に推薦会議を開催し、令和7年度から2年間の任期である、第10期北区自治協議会委員選考に向け、委員の構成団体等や公募委員の募集、評価方法について検討しましたので、報告します。

2ページ目をご覧ください。会議概要に沿って説明します。（1）スケジュール等についてです。5ページ目の「スケジュール（案）」をご覧ください。1番目の右、事務局の欄に記載のありますとおり、12月に各団体等で推薦依頼を行うほか、広報を実施してまいります。次に、会議概要、2ページに戻りまして、（2）第10期委員改選にかかる検討についてですが、現「区ビジョンまちづくり計画」で定める、「若い力を活かし、地域の大学などとの連携を深めながら、住み続けたいくなるまちを目指す」という方針などに基づき、委員構成の見直しを行うこととしました。

8ページ、「第10期北区自治協議会委員構成団体等について（案）」をご覧ください。第10期については、2号委員枠のNo.15の下、第9期構成団体の「新潟市北地区老人クラブ連合会」、No.22の下、「新潟北青年会議所」、これら2団体からの選出を見送り、No.16、17に赤字で記載のある、「新潟食料農業大学」への委員選出を依頼します。いずれの団体も内諾を頂いております。また、各団体への推薦依頼の際には、女性委員候補者の選出について、配慮をお願いいたします。

このほか、第3号委員として、No.26の伊藤裕美子委員が任期終了となるため、後任をNPO法人森の会、藤田絵実様に依頼します。また、同じく3号委員の遠藤由美委員は、任期満了の期ですが、後任の校長職経験者が見つからないため、委員継続を依頼いたしました。こちらの選定理由については、後ほど事務局から補足していただきます。

次に、委員の公募についてです。第9期と同様に、2名の枠で募集し、評価方法等を第

9期と同様に、課題作文と活動歴について、推薦委員から審査していただきます。また、作文のテーマは、「区自治協議会委員に応募する動機（取り組みたいこと）」に決まりました。報告は以上です。選定理由等について、事務局から補足をお願いいたします。

事務局

はい、事務局より補足させていただきます。「第10期構成団体等について」という資料をもう一度ご覧ください。こちらの3号委員についてですが、NPO法人森の会藤田絵実様をお願いする選定理由ですが、北区では「海辺の森共創の場形成事業」を推進しております。また、北区の特色である自然の魅力、こちらの発信に取り組んでいる中で、NPO法人森の会に所属され、現在海辺の森で指定管理の仕事にかかわっておられるということで、こちらの分野の有識者としてご参加いただきたく、提案をさせていただきました。

続いて元亀田中学校長遠藤由美様ですが、本来であれば任期が終わるところではありますが、これから北区では学校統合があるということで、ぜひとも校長職経験者の方に委員として入っていただきたいという意向がございまして、後任の校長職経験者の方が見つからなかったというところと、遠藤委員にもう一度継続いただけるという内諾を頂きましたので、継続依頼をさせていただきました。以上です。

前田会長

はい、ありがとうございました。それでは、ただいまの報告について、ご質問、ご意見ありましたらお願いします。ご質問とかございませんか。ないようであれば、この件はここまでといたします。阿部委員ありがとうございました。

続きまして、報告事項の「(4)除雪計画について」、建設課より報告をお願いいたします。

(4) 除雪計画について

建設課

北区建設課でございます。よろしくお願ひいたします。このたびも大変貴重なご意見多数頂きまして、ありがとうございます。ご意見の内容としましては、除雪の技術的なもの、あるいは雪の仮置場の確保、除雪の前に各地元と各業者、行政と一緒に情報交換をやってはどうか、などご意見を頂いております。全部で20問ありまして、時間に限りもございますので、机上配布とさせていただきますと思います。ご理解をお願いします。

除雪に関しましては、前回、土木総務課から説明がありましたが、今年、土木総務課がお伝えさせていただいたのは、大雪は災害であると。津波や地震と同じレベルと考えていただきたいということを強く言っておりました。なので、出控えについても依頼させていただいております。大雪になるときは、気象情報や報道もかなり頻繁に行われますので、事前に買い物をすませてくださいとか、備えていただければ幸いです。

あとは、市のほうでも、大雪になったら無理には出勤せずに、テレワークをしてくださいというようなことも言われております。

あとは、「雪の日辞典」が皆様に配られていると思いますが、「大雪は災害」と赤字で太

く書いてあるほか、あとはいろいろな助成制度の説明とか、丁寧に書かれていますので、後ほどまたご覧いただければ幸いです。

回答に関しましては、何か不明な点がありましたら、担当課に問い合わせただければ、補足説明させていただきますので、よろしくお願いします。

また、技術的質問も多かったのですが、例えば「雪が残らないように除雪して欲しい」など。オペレーターの確保も大変でして、新人のオペレーターはなかなかうまくはできないと。私も家でトラクターに除雪用のアタッチメントをつけてやっているのですが、その下げ具合が難しく、なかなか新人には分からないかと。例えばマンホールにぶつかってしまうと、かなりの衝撃で、フロントガラスに頭をぶつけてしまう。かなりの衝撃がかかり、その辺がやっぱり怖いので、なかなかうまくないところが実情です。技術が上達するまでご理解いただければと思います。

ただ、まだ全然除雪されてないとか、ガタガタだということがあれば、状況を確認した上で再度出動ということも考えていますので、建設課にご連絡いただければと思います。

あと、除雪については、最新技術も取り入れておりまして、AI スマホが各区に配布されました。昨年は中央区と北区が試験的に2台借りまして、パトロール車につけてパトロールに行くと、その状況がタイムリーに屋内にいても分かると。これまでですと、パトロールに行き、写真を撮って戻ってきてから対応を検討していたのですが、リアルタイムで確認することができるので、速やかに業者を手配することが可能になっております。今年も増台して、全区ではないですが、配布されています。

また、定点カメラも設置しておりまして、北区では北区役所前と、あと松浜の警察署の上のほうと、あと豊栄地区に1カ所、全部で3カ所ありますので、雪がどれくらいの状況なのか確認し、迅速な対応を心掛けるようにしております。

今年は雪が多いというふうに言われています。ご迷惑をお掛けすることがあるかと思いますが、今年もよろしくお願いします。以上です。

前田会長

ありがとうございます。今の件で何か、時間も長くなって、今大雨で大変なようですけど、何かご質問とかご意見とか。菊地さん、どうぞ。

菊地委員

すみません、私のほうから3つほど。課長さんからもお話がありました、除雪の前に業者、行政、自治会で打ち合わせをさせていただきたいということです。除雪というのは自治会ごとに抱えている問題が違いますので、ぜひそれを。

また、自治会除雪に関してですが、市道、同じ市道であっても、すぐ除雪するところと、自治会としていったん自治会が半分を負担して、申請するとまた2分の1が返ってくるという、自治会除雪というのがあるのですけれども、それが最近それではおかしいだろうということで、一昨年ぐらいから少しずつそれをなくそうということで取り組んでいると思うのです。その計画、どこが、うちのほうで言うと、雲雀ヶ丘のところ自治会除雪から外れたと思うのですが、その計画をちょっとお示ししていただきたい。あと、歩道に除

雪をした雪がずいぶん置かれていて、歩道で歩くことができない場所がありまして、小型の除雪機の貸出があるとお聞きしたのですが、自治会で借りて除雪できるものなのかどうかという3点について教えてください。

建設課

はい、ありがとうございます。まず1点目、事前の打ち合わせなのですが、業者向けの説明会を行っております。その前に、各自治会向けに、何か問題等がありますかというアンケートを依頼させていただいて、担当する業者に、ここはこういう問題がありますよと伝えるのは可能です。なので、来年はその機会を設けたいと思います。

菊地委員

今年は無理でしょうか。

建設課

今年はまだ説明会も終わってしまったので。ただ、舗装の具合がどうだとかという情報は各社に入れてあります。

自治会除雪についてですが、計画的なものはあまりなくて、今は自治会除雪の状況を確認しております。すべて市道の自治会は、割と簡単なもので、行うようにしまして、昨年雲雀ヶ丘でやりました。今年も松浜東町をやるようにしています。一番大変なのが、市道と私道が混在している自治会で、そこは割り振りがちょっと難しいと。今それを検討中ですので、市道ばかりの自治会を先に、自治会除雪を市道除雪と同じようにという計画はしております。ただ順番的にどこを優先、というところまではまだやっておりません。

あと歩道の除雪については、令和2年度の大雪の反省を踏まえまして、歩道に雪が多くたまる前に、市道では車道除雪と同時に歩道除雪をするようにしています。また機械についてですが、これから土木総務課の判断で各区の台数が決まります。

菊地委員

ぜひ、雪が多い所ですので、北区は。

前田会長

はい、ありがとうございました。何かほかに。

清水（博）委員

1点目、前にも議論があったのですが、特に道路除雪で、道路の真ん中に除雪をした雪が積もって交通に大きな障害があるというようなことを、昨年お話ししました。この件についてどのように対応されるのか。

2点目は、やはり公共施設、特に保育園だとか幼稚園の道路ですね、これも前回も話しましたが、この辺のところを優先的にやるのかどうか、市の方針をお聞かせください。

建設課

はい、ありがとうございます。1点目の、道路の真ん中に雪山があると。私も見に行きました。道路が狭いと、やはり雪山を捨てる場所、置く場所がないもので、どうしても道路上に置かなければいけない状況があります。そうすると、道路が狭いので、道路の真ん中に出してしまうところがあって、車が縫って行かなければならない状況が見られました。なので、すぐに変えていくというのは難しいのですが、そういう危険な場所は優先的に排雪するように各業者に指示をしております。

2点目の、保育園、幼稚園を優先的にという件ですが、ここを先にやるとかいうことはできなくて、各持ち場がある業者が回りやすいような形でやっております。ただ、そういった公共施設があるところは丁寧にやってくださいと指導はしております。

清水（博）委員

道路に雪を山積みにして、1週間も放置するってことは、一体行政は何を考えているのかということも昨年言ったのですが、今年度は改良はあるのですか。

建設課

1週間置いたということは大変申し訳ありませんでした。今年は危険な場所については早めに排雪するようにしますということで、かなりの協議が進んでおります。危険な場所、われわれが見つけられなかった場合、ご一報いただければ対応したいと考えています。

清水（博）委員

ぜひお願いしたい。よろしく申し上げます。

前田会長

この件は皆さんいろんな問題を抱えていますよね。早い時期に意見交換、意見聴取をしたほうが、良いのではないかと思います。

建設課

ありがとうございます。

菊地委員からもありましたので、ぜひ機会を設けたいと思います。

前田会長

ほかに何か。伊藤さん、どうぞ。

伊藤委員

先ほど事前に除雪、事前に情報交換という話がありましたけれども、各小中学校には校区の安全マップが作られていると思いますので、その辺連携して、さっき情報交換というふうにお話あったのですが、そういう安全に対しての啓発というか、広報というか、そういうこともしていただければと思います。

もう1点は、除雪そのものではないかもしれないのですが、除雪によって道路の表示が

ちょっと削れたりとか、また経年の劣化もありますが、例えば止まれの停止線が薄くなっているところは、ほんのちょっと雪が降ってももう全然見えなくなったりして、危ない部分が結構あります。あと路側帯ですね。例えば濁川小中学校区なんか、路側帯やスクールゾーン等、道路標示がちょっと薄くなって、改善してぬり直していただきたいと思います。安全にかかわることなので、除雪そのものではないのですが、十分その辺も配慮して実施していただきたいなということで、お願いいたします。

建設課

ありがとうございます。学校についてですが、今年から建設課で出前講座を行うことにしました。今年は2校決まっております、先月葛塚東小学校の1年生を対象に行っております。あと太夫浜小学校にも12月12日に行く予定です。来年もこの出前講座は続けていくことになっていきますので、各学校の校長先生と会う機会に応募をかけて、手を挙げていただいたところに行きたいと思っております。区画線などにつきましては、警察との協議も進めながら、なるべく見えるよう修繕に努めたいと思います。

(5) 会長会議の報告

前田会長

伊藤さん、よろしいですか。ありがとうございました。

それでは、次に移ります。報告事項の「(5) 会長会議の報告」について、これは私が出席いたしましたので、私のほうから報告いたします。

それでは、皆様のお手元の報告資料5をご覧ください。「令和6年度第2回区自治協議会会長会議」をご覧くださいと思います。会議の内容の詳細は、資料のとおりでございます。ここで私が説明するのは、主な決定事項ということで、3点についてご説明いたします。

まず第1点目は、ホチキス留めの文書の中のところをご覧ください。資料2は、「第10期新任委員研修会について」ということで。この中の項目番号の5番のところで開催（案）とありまして、(1) 実施方法については、研修動画による全統一の研修内容としまして、日程調整や移動の関係のため、講義と区のオリエンテーションを、各自治協議会会場で開催する。それでいこうということになりましたので、報告します。

それから同じく、そこの表の開催（案）のところの、参加対象委員についてですが、これは新人の方、再任の方、要するに両方ともやるという話も出まして、この辺のところは各区の決定に任せるという声もありました。

次に、2点目、同じくこの文書の資料3番、「市長と区自治協議会委員の懇談会について」という文書でございます。この中で、市長が公務多忙であれば、局長、担当部長でもよいのではないかという意見が出されたということでございます。また、日程調整や、開催時期およびテーマについては、事務局に一任することになりましたので、報告します。

それから、次第の3番で「その他」というところでございます。この中で、私のほうから、区自治協議会の存続意義の確認と、さらなる発展に向けた展望を行う意見交換会の設置について、提案いたしました。協議の結果、会長会議終了後に、引き続いて意見交換会

を開催する方向で、今後調整するということになりました。以上3点が報告でございます。この件で何か、皆さんのほうで質問とかご意見ございますか。はい、菊地委員。

菊地委員

私、去年十数年ぶりに委員に選ばれて、この開催（案）の開催形式について、区ごとで行われるようになったということは、非常にいいことだと思います。私のときは、全部の市から集まって、通り一辺倒の説明を受けただけです。意見交換とかそういうのが一切できないような状態でした。新任委員研修ですが、できれば都合のつく現在委員の方も一緒に出席して、その中で意見交換とかやれば、自治協議会に早くなじんでくれるのかなというふうに思いますけれども、いかがでしょうか。

前田会長

はい、ありがとうございます。この件は今後のことで、検討するような形で進めたいと思いますので、よろしいでしょうかね。

それでは、「報告事項（6）部会会議概要について」、部会長より報告を、地域づくり部会、福祉教育部会、自然文化部会の順にお願いいたします。

（6）部会会議概要について

地域づくり部会

地域づくり部会です。

先月は、防災かるたの最終選考を実施しました。北区防災士の会の皆さんにご協力いただいたほか、キテミテキタ区フード&フェスタでの投票も実施しました。また、絵札がまだ決まっていない音があったので、私たち地域づくり部会委員が自らモデルとなって写真を撮影いたしました。

今後のスケジュールは、印刷業者さんへかるたデータが今入稿されている状態で、あと、札に選ばれた子どもたちの学校に、学校名とか名前など、個人情報に関するものを掲載していいか、学校を通して確認しているところです。完成したかるたは、2月9日（日）の北区ふゆっこまつりで体験会を開きたいと考えています。以上です。

福祉教育部会

はい、それでは福祉教育部会の概要について報告をいたします。内容につきましては、会議概要に記載のとおりです。若干付け加えますと、部会では今まで地域活動の担い手不足をテーマに活動しておりまして、この解決に向けた事業として、11月16日（土）に新潟お笑い集団 NAMARA 代表の江口さんを講師に招き、講演会を開催したところです。30名が参加をされまして、自治協議会委員の前田会長をはじめとして、委員の皆さんからも参加していただきました。あらためて感謝申し上げます。

議題は、「人生を楽しむコミュニケーション術」、こういうことを題にして講演をしていただきました。趣味や興味から地域の活動をつくってみようというテーマで、ワークショップを開催いたしました。参加者の皆さんの身近な趣味や、あるいは特技などについて、

どのような地域活動につなげられるかを話し合ってもらったところでもあります。参加者にはさまざまな活動団体のチラシ等の配布など、少しでも地域活動に関心を持っていただけるように、工夫をしています。今日は、部会は休会といたしますけれども、今後アンケート結果を取りまとめて、振り返りを行いたいと思っています。以上です。

自然文化部会

自然文化部会です。自然文化部会は、9月22日に開催予定でありましたが天候不順のため中止になった「潟料理の魅力を語る」をあらためて11月23日（祝）にビュー福島潟の6階にて開催しました。12時から1時間、福島潟の「潟料理の魅力を語る」ということで、新井郷川漁業協同組合の長谷川さん、それから松潟屋の佐藤さん、それから産業振興課の職員、3名の方から参加いただきトークセッションをしていただきました。そのあと、クイズをやりまして、子どもクイズ、それから大人のクイズということで、9月に手配しておいた景品を正解者に進呈するというので、1時間有意義なイベントを組むことができました。自然文化部会の皆さんにも参加していただき、10時半から集まって準備をやり、終了が3時近くになったかと思いますが、これで事業はすべて完了いたしました。以上です。

前田会長

ありがとうございました。それでは、今の報告事項について何かありますでしょうか。これで報告内容はすべて終了いたします。ありがとうございました。

それでは、次第3の「その他」について、事務局から何か報告とかありますか。お願いします。

3 その他

産業振興課長

先月の自治協議会で、川島委員から、海辺の森の展望塔について、夜間も上げられるようにというご質問を頂きまして、ご回答したいと思います。確認しましたところ、海辺の森、過去にボヤなどいろんな形での問題があったということで、現在8時半から4時20分までの開館という形にさせていただいております。これはキャンプ場で、夜間は1人おられますけれども、トラブルがあったときに対応できないため、夜間は閉鎖しております。ご提案のありました星を見る会とか、いろんな特別な会をやるときは、言っていれば、鍵を開けて入れるようなことはできます。このような事情で、夜間は閉鎖という形にしておりますので、ご了承いただきたいと思います。

前田会長

ありがとうございました。川島さん、よろしいでしょうか。

川島委員

朝はやりたいというのは、1つは朝日もあったのですけれども、あそこにミサゴがいて、

バードウォッチングしている人もいます。展望塔の上で、ミサゴがちょうど、えさを取る場所が見えるときがあるのですよ。朝も何か早めに、特に期間限定でもいいのですが、できないのかなと思いますけど、いかがでしょうか。

産業振興課長

先ほど言いましたように、職員が出勤してくる時間があり、夜間5時から、翌日の8時半までは1人ですので、なかなか開けるといのが難しい状況です。ですので、バードウォッチングの大会とかそういうものをやるということがわかりましたら、言っていただければ、海辺の森と協議ですけれども、職員が対応できるかどうかというところで、また検討させていただきたいと思います。

前田会長

はい。ありがとうございます。これで予定されていた内容は以上でございます。本日は議事進行にご協力いただきまして、大変ありがとうございました。それでは、事務局に進行をお返しいたしますので、よろしく願いいたします。